



頁	場所	誤	正	修正
41	変数の適用範囲の表（上の表） 「プロシージャレベル変数」行の「ステートメント」列	Dim または Private	Dim	
48	【オブジェクト変数への参照が代入されているかを調べる】の構文	オブジェクト変数 Is Nohing	オブジェクト変数 Is Nothing	
48	【オブジェクト変数への参照が代入されているかを調べる】の構文の下の解説 2行目	また、「オブジェクト変数 Is Nohing」の返す値が	また、「オブジェクト変数 Is Nothing」の返す値が	
193	パターン文字列で利用できるワイルドカード一覧表 5行目・7行目の「文字」と「例」	![文字リスト] Like "p![eo]t" ![文字 1-文字 2] Like "b![a-c]t"	[!文字リスト] Like "p[!eo]t" [!文字 1-文字 2] Like "b[!a-c]t"	第2版第2刷済
193	注意コラム内の表 3行目	![文字リスト] ^[文字リスト]	[!文字リスト] ^[文字リスト]	第2版第2刷済

197	グループへの条件指定 の構文の 2 行目	HAVIG 条件式;	HAVING 条件式;	
225	定数「adOpenKeyset」 の説明	他のユーザーによる追加は確認できない。	他のユーザーによる追加・削除は確認できない。	第 2 版済
249	btn3_Click()	<pre>Private Sub btn3_Click() Dim CN As ADODB.Connection Dim RS As ADODB.Recordset Set CN = CurrentProject.Connection Set RS = New ADODB.Recordset CN.CursorLocation = adUseClient Set RS = CN.Execute("T 社員名簿") Set Me.lst1.Recordset = RS RS.Close: CN.Close Set RS = Nothing: Set CN = Nothing End Sub</pre>	<pre>Private Sub btn3_Click() Dim CN As ADODB.Connection Dim RS As ADODB.Recordset Set CN = CurrentProject.Connection CN.CursorLocation = adUseClient Set RS = CN.Execute("T 社員名簿") Set Me.lst1.Recordset = RS RS.Close: CN.Close Set RS = Nothing: Set CN = Nothing End Sub</pre> <p>※コード 5 行目を削除</p>	第 2 版済
251	P251 の本文 4~8 行目	<p>今回は Connection オブジェクトの Execute メソッドを使用してレコードセットを取得するため、この時点ではまだ、Recordset オブジェクトのインスタンスがありません。そこで</p> <pre>CN.CursorLocation = adUseClient</pre> <p>と Connection オブジェクトの CursorLocation プロパティに「adUseClient」を指定しています。</p>	<p>今回は Connection オブジェクトの Execute メソッドを使用してレコードセットを取得します。そこで</p> <pre>CN.CursorLocation = adUseClient</pre> <p>と Connection オブジェクトの CursorLocation プロパティに「adUseClient」を指定しています。これは、Execute メソッドを使用してレコードセットを取得する場合、Connection オブジェクトの CursorLocation プロパティが、レコードセットに継承されるためです。</p>	第 2 版済
269	P269 表の「定数」項目	daDate	dbDate	第 2 版第 2 刷済

	の4行目			
--	------	--	--	--

■ 模擬問題プログラムについて

Access VBA スタンダード 学習用データ 模擬問題プログラムの問題文に誤表記があることが判明いたしました。

2010年4月16日以前にダウンロードされた方は、大変お手数ですが、再度ダウンロードの上、現存の学習用データと差し替えてご利用いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 6 月 27 日現在